

# ま ち の 話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお寄せください。



## 猛暑の昼下がりに冷や汗

宮司の工事現場に不発弾



▲安全を確認し、不発弾を回収する自衛隊

宮司浜3丁目の家屋解体工事現場で7月29日、不発弾が見つかりました。作業員から「地面を掘っていたら不発弾のようなものが見つかった」と宗像警察署に通報があり、半径300mの範囲で立ち入りが規制されました。見つかった不発弾は長さ約1m、直径20cmほどの棒状のものが10発。市も付近住民に一時、避難指示を出すなどして騒然としましたが、自衛隊が処理に当たり、信管がないことを確認。不発弾はいずれも旧日本軍の50kg爆弾でした。



▲工事現場で見つかった不発弾。羽がついています

## 夜空に咲く大輪の花

福津市納涼花火大会

福津の夏の風物詩「福津市納涼花火大会」が8月7日夜、福岡海水浴場から津屋崎海水浴場までの海岸を舞台に、盛大に催されました。観光客は約5万5千人（主催者発表）。観光客の玄関口となっているJR福岡駅には夕方から家族連れやカップル、浴衣姿の若者などが、続々と降り立ち、海岸まで鈴なりの列を作って



▲「ドーン」という音と同時に体を震わす大玉が魅力です

歩いていました。

宗像市から家族で訪れたという男性は「休日なので早くから場所取りをしました。子どもと波打ち際で遊びながら打ち上げを待っていました。家族サービスにもなりましたし、時間があつたのでゲーム『ポケモンGO』も楽しむことができました」と笑顔で語っていました。

## 第11分団が県大会に進出

宗像地区消防操法大会



▲標的を狙って放水する第11分団（本木・畦町区）

消防学校で7月31日、操法大会小型ポンプの部の宗像地区大会がありました。福津・宗像両市の代表分団が集まり、熱戦を繰り広げました。優勝し県大会に進出を決めたのは、厳しい訓練の成果を十分に発揮した第11分団です。指揮を務めた吉田晋一さんは、「全国大会を目指し、更に力を入れて訓練します」と決意を語りました。また、9月4日に開催される県大会には、第10分団も自動車ポンプの部代表として出場します。

## 宮司3区に地域の拠点がオープン

暮らしのサポートセンターサンクス開所



▲多くの人が集まった開所式

宮司3区（596世帯）は昭和鉄工の元保養所を借り受け、住民の集いの場となる施設を7月18日にオープンしました。この日までに多くの住民が力を合わせ、汗を流しての開所でした。今後は住民の暮らしの困りごとを支援するほか、高齢者から子どもまで誰もが気軽に立ち寄れる場所として、色々なイベントが予定されています。

## 福津市がダブル表彰

環境保全功労者等環境大臣表彰式



▲小山市長へ報告に

環境保全などに功績があった団体などが表彰される環境保全功労者等環境大臣表彰式で、福津市の1個人と1団体が表彰されました。環境衛生組合連合会やエコショップ推進委員会等への尽力が認められた花見1区の青谷宗俊さんと、公共エリア環境づくり事業や小学生との花植え活動などが認められた『すいせんの会』です。青谷さんもすいせんの会の遠田代表も「周りの皆さんが素晴らしいからいただきました」と語っていました。

## 届け！<sup>だ</sup>楯田球に込めた思い

女子ラグビーで九州のベスト12に選出



▲小山市長へ出場報告に

玄界ジュニアラグビーチームなどで厳しい練習を積んできた福岡東中学校2年の田淵絢音さん（桜川区）が、九州の女子15歳以下のベスト12に選ばれ、9月中旬に茨城県で開催される太陽生命カップ全国中学生ラグビーフットボール大会に出場することになりました。田淵さんは「出るからには必ず優勝してきます」と意気込みを語っていました。